記者発表資料

平成２８年　８月１８日
青森河川国道事務所

小学生と一緒に水生生物調査を実施します！

～採集した水生生物の種類から河川の水質を判定します～

国土交通省では、河川に生息する水生生物を指標として河川の水質を総合的に評価するため、また環境問題への関心を高めるため、一般市民等の参加を得て全国水生生物調査を実施しています。
青森河川国道事務所では、岩木川において弘前市立新和小学校の児童と共に下記の日程で実施します。（新和小学校は初参加です！）

また、NPO 法人岩木山自然学校の高田顧問のご協力をいただき、水難事故防止についての実技講習も実施します。

◆場　　所
岩木川（弘前市大字和田町地先　弘前地区防災ステーション付近の河川敷）・・・・・別図参照

◆参加校及び日時
弘前市立新和小学校（4学年　11名）　　平成28年8月25日（木）9:30～11:30
※なお、天候不良や河川の水位の状況により、中止する場合があります。
予備日は平成28年8月29日（月）の同時間帯です。

☆全国水生生物調査とは
河川に生息するサワガニ、カワゲラ類等の水生生物の生息状況は、水質汚濁の影響を反映することから、それらの水生生物を指標として水質を判定する事ができます。
このような調査は、一般の方にもわかりやすく、高価な機材等を要しない事から誰でも簡単に参加できるという利点があります。
また、調査を通じて身近な自然に接する事により、環境問題への関心を高める良い機会となるため、国土交通省では昭和５９年度から全国水生生物調査を行っています。

☆調査方法
本調査では、河川に生息する水生生物のうち、**①全国各地に広く分布し、②分類が容易で、③水質に係る指標性が高い、**２９種を指標生物としています。・・・・・別添資料参照
河川で水生生物を採集し、指標生物の固定・分類を行い、Ⅰ（きれいな水）、Ⅱ（ややきれいな水）、Ⅲ（きたない水）、Ⅳ（とてもきたない水）の４階級で水質の状況を判定します。

※発表記者会　：　青森県政記者会、建設関係専門紙、津軽新報社

問　い　合　わ　せ　先

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所
青森市中央三丁目２０－３８　（ＴＥＬ０１７－７３４－４５３７（直通））
河川占用調整課長　　大滝　雅之

国土交通省　東北地方整備局　青森河川国道事務所　藤崎出張所
南津軽郡藤崎町大字藤崎字村井３６－１　（ＴＥＬ０１７２－７５－３３１４）
藤崎出張所長　　加藤　透

岩木川水生生物調査　実施箇所　位置図

青森県弘前市大字和田町地先

至　鰺ヶ沢　　至　藤崎



至　弘前市中心部

至　西目屋



◎弘前水辺プラザ（河川敷）の駐車場をご利用いただけます。

川の生きものを調べよう

水生生物による水質判定

Ⅰ きれいな水





耳状のとがった突起

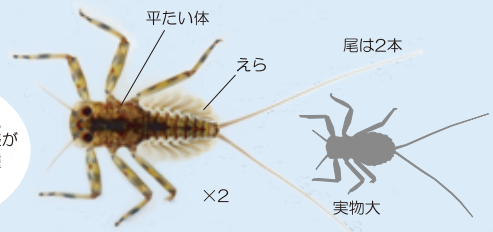


また、体に模様があるのも外来種

外来種
アメリカツノウズムシ＊

ナミウズムシ

石の表面にはりついていて、伸び縮みする
中・下流部には外来種がいることがある



ヒラタカゲロウ類

流れの速い石の表面にはりついている





カワゲラ類

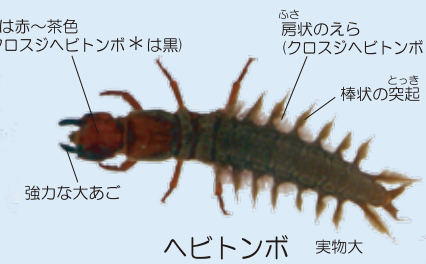
体ががんじょうな感じがする
石の下やすき間にいる



頭は赤～茶色
（クロスジヘビトンボ＊は黒）

サワガニ

体色は赤色、茶色、青白色のものがいるが、
同じ種類である



ヘビトンボ

流れの速い石の下にひそんでいて、
えものをおそう



ブユ類

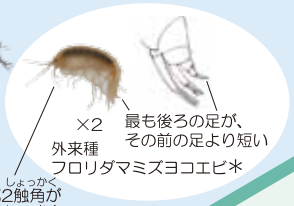
急流の岩や石に吸盤ではりついている
集団をつくり、石が黒く見えることもある



アミカ類

腹面に吸盤があり、急流の岩や石に
はりついている

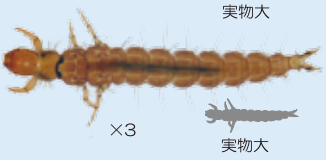




ヨコエビ類

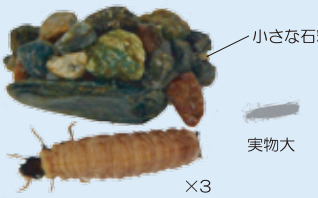
上流の石の下や水中に
たまった落葉の間にいる





ナガレトビケラ類

流れの速いところにいる



ヤマトビケラ類

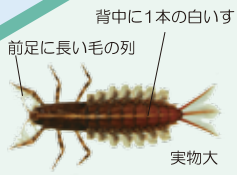
流れの少しゆるやかなところの石面に多い



タニガワカゲロウ類

体はヒラタカゲロウ類に似ている
流れの速いところにいる

Ⅰ，Ⅱ両方でみられる水生生物
（指標種ではない）



チラカゲロウ

流れのやや速いところにいる

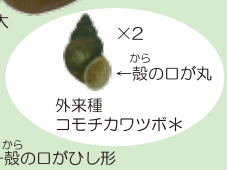


ヒゲナガカワトビケラ類

流れの速い石の間に網をはってえさを集める
体色は茶～黒色

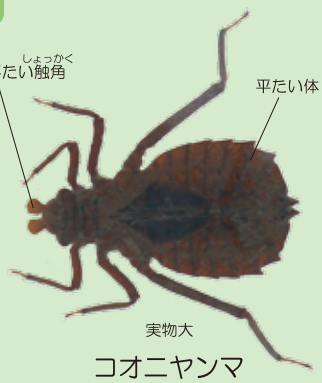
Ⅱ ややきれいな水





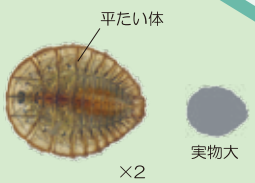
カワニナ類

流れの少しゆるやかなところにいる
外来種のコモチカワツボ＊は数mmと小型



コオニヤンマ

流れが少しゆるやかなところにいる



ヒラタドロムシ類

石の表面にはりついている



ニンギョウトビケラ類

流れが少しゆるやかなところ
の石面にいる



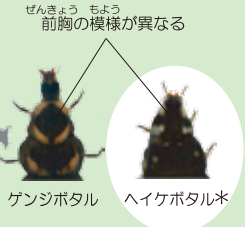
コガタシマトビケラ類

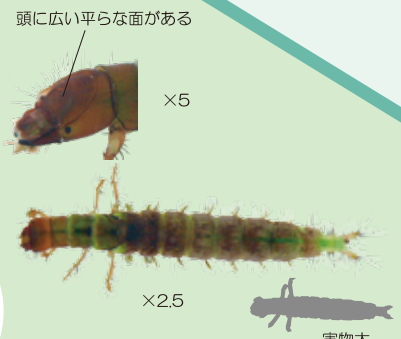
頭部の前縁に浅い凹みがある



ゲンジボタル

流れが少しゆるやかなところにいる
カワニナをえさとする



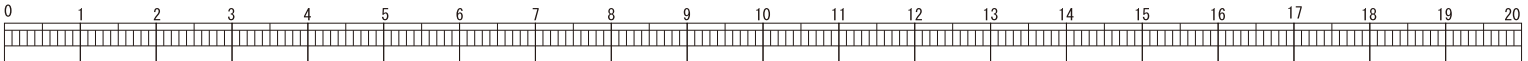


オオシマトビケラ

流れが少し速いところにいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

平成23年度版



Ⅲ きたない水



ミズムシ

落葉のあるところではきれいな水にもいる



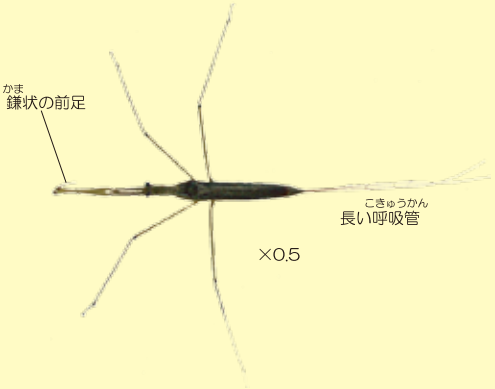
シマイシビル

背中に縦縞模様がある
伸びたり縮んだりする
尾の先に吸盤がある



タニシ類

流れのゆるやかなところにいる



ミズカマキリ

川では川岸の草の中などにいる

Ⅳ とてもきたない水



エラミミズ

尾部にえらがある
流れのゆるやかなところにいる



サカマキガイ

多くの巻貝と違い、左巻き
流れのゆるやかなところにいる



アメリカザリガニ

北アメリカ原産の外来種
流れのゆるやかなところにいる



ユスリカ類

腹部に2対（4本）または1対（2本）のひも状のえらがある
瀬でみられる赤いユスリカはセスジユスリカやハイイロユスリカが多い



チョウバエ類

尾部、腹部背面にかたい部分（キチン板）がある

汽水域（海水が混じっているところ）

Ⅱ ややきれいな水





イシマキガイ

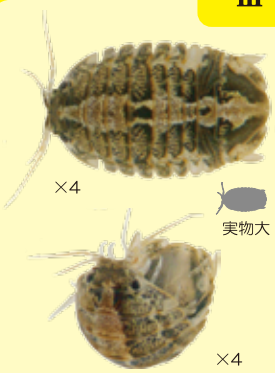
石や護岸にはりついている
淡水域にいることもある



ヤマトシジミ

砂や泥の中にいる
淡水域にはマシジミ＊や外来種のタイワンシジミ＊がいる

Ⅲ きたない水



イソコツブムシ類

石の下にいる
さわると丸くなる



ニホンドロソコエビ

泥の上や中にいる
河川の上・中流部にも淡水性のヨコエビ類がいる

＊のついている生物はよく似ていますが指標種（水質判定に使う水生生物）ではありません。

